

(H23-038)

平成23年12月1日

中小企業成長支援ファンド
「ウイズ・ヘルスケアPE1号投資事業有限責任組合」への出資について
 ～ 中小機構がバイオ・ヘルスケア関連成長企業向け投資ファンドへ出資 ～

独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)は、新事業開拓促進出資事業(ファンド出資事業)において、「株式会社ウイズ・パートナーズ」を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合の組成について合意し、10億円の出資を行う組合契約を締結しました。

『ウイズ・ヘルスケアPE1号投資事業有限責任組合』(以下、「本組合」)は、国内バイオ・ヘルスケア企業を中心に、優良なパイプライン(創薬基盤技術)や人材といったプラットフォームを持つ成長段階の企業に対し資金提供すると共に、企業価値向上を図るために経営支援を行います。

そうした手法による投資先企業の成長がバイオ・ヘルスケア市場全体の活性化を促すことが期待できるファンドです。

(参考)

【中小機構ファンド事業出資実績】平成23年10月末現在

ファンド総数	ファンド総額	うち中小機構出資約束総額
148	3,295.9 億円	1,386.5 億円

詳細につきましては 中小機構 HP をご覧下さい。

・中小企業成長支援ファンドについて <http://www.smrj.go.jp/fund/gaiyo/053660.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部ファンド審査第二課(野村、吉田)

住所：〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37 森ビル

電話：03 - 5470 - 1570 (ダイヤルイン)

ホームページ：<http://www.smrj.go.jp/fund/index.html>

◆「ウイズ・ヘルスケアPE1号投資事業有限責任組合」の概要

- 「ウイズ・ヘルスケアPE1号投資事業有限責任組合」は、株式会社ウイズ・パートナーズ(港区・代表取締役 安東俊夫)を無限責任組合員として設立された投資ファンドです。
- 株式会社ウイズ・パートナーズ(旧CSKベンチャーキャピタル株式会社)は、ファンド運営等を目的とし平成3年5月に設立され、平成22年9月にCSKグループから独立し新たに独立系運用会社としてスタートしています。
- 投資対象としては、従来のベンチャー投資とは異なり、ある程度技術や人材が整っている企業に対し、出口戦略を想定した上で投資し、経営支援を実施して行きます。

組合名	ウイズ・ヘルスケアPE1号投資事業有限責任組合
ファンド規模	100億円程度を予定
無限責任組合員	株式会社ウイズ・パートナーズ(※1)
有限責任組合員	中小企業基盤整備機構(10億円) 金融機関、機関投資家等
設立	平成23年4月(中小機構は平成23年11月30日に加入)
存続期間	7年(2年延長可能)
投資期間	4年

(※1)株式会社ウイズ・パートナーズ

本社所在地:東京都港区

代表取締役:安東 俊夫

設 立 日:平成3年5月21日

資 本 金:100百万円

事 業 内 容:投資事業有限責任組合の運営等

【スキーム図】

